

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

| | | | | | | |
|--------|---------------------|-------------------------------|---|--|---|-----------------------------|
| P T A名 | 静岡県立御殿場特別支援学校 P T A | | | | | |
| 学 校 | 対 象 | <input type="checkbox"/> 視覚障害 | <input type="checkbox"/> 聴覚障害 | <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 | <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 | <input type="checkbox"/> 病弱 |
| | 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 | <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 | |
| | 全校児童・生徒数 | 170名 | | | | |

1. 使用状況

| | |
|-------------------|--|
| 寄贈物品名 | 業務用刺繍ミシン |
| 使用学年及び人数 | 御殿場特別支援学校小山分校高等部1年15名 |
| 使用頻度 | 週2回 |
| 使用状況 | 週2回の作業学習ものづくり課・縫製班で製品づくりに使用 作業時間(月曜日、水曜日の10:15～12:40) |
| 物品の使用による 変化や効果 | 令和6年4月に開校してから、ものづくり課の縫製作業で製品づくりに取り組んできた。自分の体操着袋やティッシュケース、併置されている高校事務室、家の人への巾着袋などを製作してきた。製作した物へ刺繍ミシンで名前やワンポイントとなるデザインを刺繍することで、喜ばれたり製品としての付加価値を高めたりすることができた。 |
| 今後の活用の 見通しや課題 | 分校では、自主生産作業と地域へ出での作業学習「ローカルワーク」を行っている。今後も生徒が主体的に製品づくりに取り組む中で、現在、ローカルワークで行っているこども園、老人福祉施設や学校周辺にある温泉施設、宿泊施設とのやり取りをとおして、各施設の施設名、ロゴなどの刺繍が入った縫製製品づくりへと生かしていきたいと考えている。 そのために需要やニーズに応じた製品研究をしていく必要がある。 |
| その他 希望や所感など | 特別支援学校で学習の中核となる作業学習で、地域とつながり、かかわりながら学習を進めていくことは、今年度4月に開校した本校にとって特色ある魅力的な学校づくりにつながると考える。そのために作業学習で、ニーズに合った魅力的な製品づくりは、大切なことであるため刺繍ミシンを活用していきたい。 |

2. 活用の様子

